
サンタはバイクでやってくる

タケノコ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

サンタはバイクでやってくる

【Nコード】

N6138I

【作者名】

タケノコ

【あらすじ】

母を亡くした美奈は、父親と喧嘩ばかりしていた。ある時、頭に来た美奈は二階の窓からジャンプした。そこでぶつかったものとは……。

「お父さんに私の気持ちなんか分かりっこない！」

声の主は、名前を美奈と言う。容姿は極めて美しい。ここは閑静な住宅街の一宅の二階にある部屋。

「俺は亡くした母さんの分も頑張ろうと思って……」

父（貞夫）は、両腕を大きく開き美奈に語りかける。開きっ放しの窓から夜風が辺りの温度を下げる。

「それが、余計なお世話だっって言ってるの！」

そう言うと、美奈は、開いたままの窓枠に足をかけ夜空に飛んだ。美奈の制服のミニスカートが靡く。冷たい夜風が美奈に直接当たる。「ガン！」という音と共に頭に痛みを感じる美奈。

「イテェー！！！」

「イタタタ。あれ？浮いてる！？」

何かに乗っている感覚があるのだが視認出来ない美奈。それに、さっきの声。うつすらと美奈の目にバイクとグラサンをかけた男前のサンタクロースが見え始めた。片手に大きな白い袋を下げている。

「！！あんた何！？飛んでる！？ちよつと、お尻触らないで！」

大型のバイクは、無音で空に浮いていた。そのバイクに跨がるサ

ンタ衣装の男は、サングラスを上げ美奈を見る。
(ワイルド系の美青年！ストライクなんですけどー！)

「美奈！！ な！ なんだおまえ……」

貞夫が窓から外を見遣った。「バキユン」と言う発射音。窓枠に倒れかかる貞夫（美奈の父）。美奈の視線が父からグラサンのサントに移る。不似合いなサントの片手には拳銃が握られていた。煙りが辺りに漂う。

「ちょっと、父さんに何したの!？」

不思議なサントにがぶりよる美奈。胸倉を掴む。

「……忘れてもらっただけだ」

バイクに跨がったサントは囁いた。

ここは、美奈の部屋。ベットには気を失った貞夫が上向きに寝そべっている。不思議なサントクローズに向き合う美奈。

「私に用事って何？あなたがサントクローズなの？」

グラサンのサントは、大きな白い袋を取り出した。

「そうだ、俺はサントクローズをやっている。ジャッカルだ。君にある人からのプレゼントだ……」

グラサンのサントは、白い大きな袋の口を開いた。

「えっ！？何？」

白い袋から光りが輝き美奈は、吸い込まれて行った。

・
・
・

目を覚ます美奈。倒れた状態から立ち上がった。ここは、美奈が子供の時代によく親子で行った公園。美奈の目には、透けた二人が仲睦まじく遊ぶ姿が映った。

「お母さん！ブランコおもしろいねー！」

それは、幼き頃の美奈。その背中を押すのは若くして旅だった美奈の母。

「そう。良かった！お母さん嬉しいな」

前後に動くブランコ。

「ホント？」

小さな美奈は、ブランコの上に立った。そして後ろの母を振り返る。

「そうよ。美奈の笑顔が一番お母さんは、嬉しいの」

また、場面は変わってここは美奈の自宅内。そこには、貞夫に肩車される幼い美奈の姿があった。

「おとうさん！高いよー！」

「そ、そうか。すまんすまん」

またまた、場面は変わった。そこにはなにもない。ただ、薄い人が美奈を見ていた。

「美奈……お父さんをあまり、困らしては駄目よ」

薄い女の人が現在の美奈に話しかける。美奈は泣き腫らした顔を母に向ける。

「お母さん！なんで早くしんじやったの、エグ……私寂しかったんだよ？」

「ごめんね、美奈。美奈、時間が無くなってきたみたい……最後に美奈の笑顔を見せて？」

涙を袖で拭いながら半泣き半笑いの表情を母に向ける。

「うん！ 母さん」

・

「美奈！美奈！？大丈夫か？」

倒れた美奈の肩を何度も揺さぶる貞夫。必死の顔をしている。

「う……うん。大丈夫……」

意識を取り戻した美奈。スクツと体を起こす。

「そうか。良かった！」

（今さっきのは幻？それとも夢？）

美奈の手にはサングラスをかけたサンタクロースのキーホルダーが握られていた。

「おしまい」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6138i/>

サンタはバイクでやってくる

2010年10月9日02時12分発行